

第1回防災リレー講座

アンケート集計結果

SEEDS Asiaまとめ

登録者・参加者の概要

	事前：当日	参加方法 オンライン：会場	人数	コメント
登録者	事前申し込み	オンライン	12	地域・保育園関係者など、電話申し込み者は一定数ある。次回も二種類の申し込み方法を適用することが望ましいことが示唆される
		会場	46	
		計	58	
	事前：当日	参加方法 オンライン：会場	人数	コメント
参加者	当日参加者	会場	14	関係者他（教育長を含む）
	登録済参加者	オンライン	8	約3割が申し込みをしたが欠席
		会場	43	一割弱、申し込みをしたが欠席
	参加者計		65	

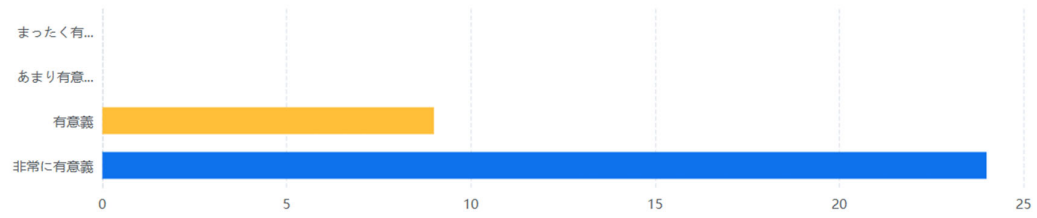
※アンケート回答者33名:回答率50.7%
次回は二次元コードだけでなく紙媒体の選択制とする

質問要約

1. 本日の講座は、有意義な内容だと感じましたか？ （単一選択） *



(33/33) 100% が回答しました

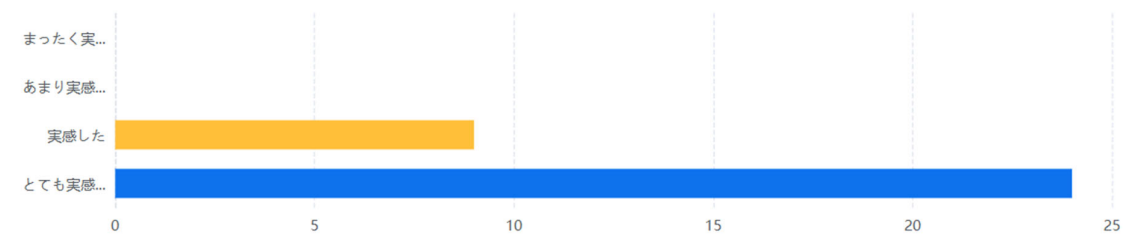


オプション	回答
非常に有意義	24/33 (73%)
有意義	9/33 (27%)
あまり有意義ではない	0/33 (0%)
まったく有意義ではない	0/33 (0%)

2. 講座を通じて、子どもたちの安全を支えるために、地域として見守る「まなざし」の大切さを実感しましたか？ （単一選択） *



(33/33) 100% が回答しました

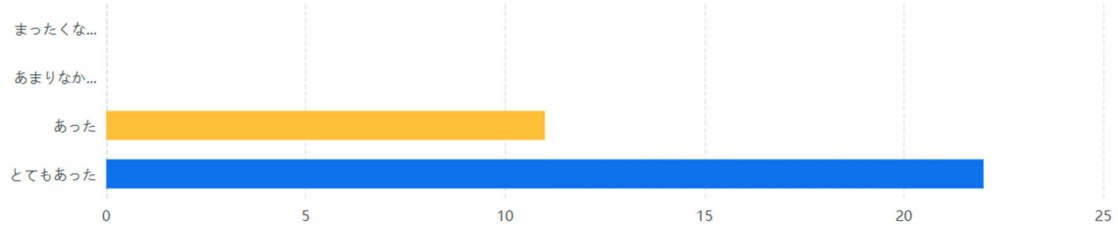


オプション	回答
とても実感した	24/33 (73%)
実感した	9/33 (27%)
あまり実感しなかった	0/33 (0%)
まったく実感しなかった	0/33 (0%)

3. 講座を通じて、子どもの安心・安全に関する知識が深まったり、新しい気づきや発見がありましたか？（単一選択）*



(33/33) 100% が回答しました

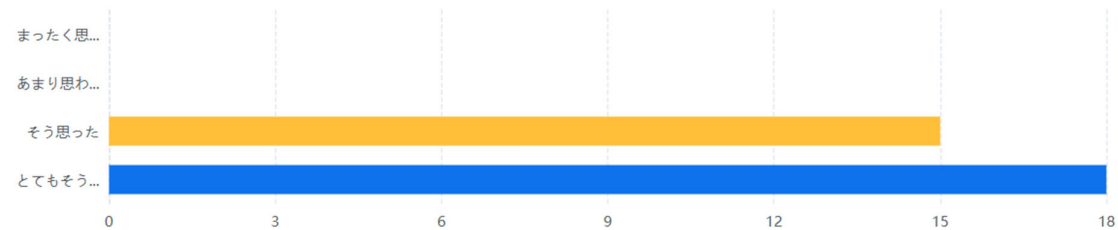


オプション	回答 〱
とてもあった	22/33 (67%)
あった	11/33 (33%)
あまりなかった	0/33 (0%)
まったくなかった	0/33 (0%)

4. 講座で得た内容を踏まえ、自分の生活や地域でできることを実践したいと思いましたか？（単一選択）



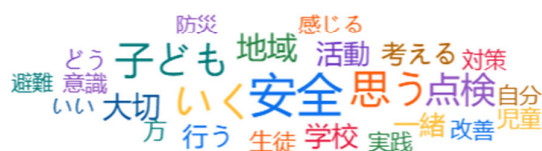
(33/33) 100% が回答しました



オプション	回答 〱
とてもそう思った	18/33 (55%)
そう思った	15/33 (45%)
あまり思わなかった	0/33 (0%)
まったく思わなかった	0/33 (0%)

5. 上記の質問で、「とてもそう思った」「そう思った」方にお尋ねします。例えば、どのようなことを実践したい、あるいは継続したいと思いましたか？（短い回答）

(28/33) 85% が回答しました



A word cloud of responses in Japanese. The most prominent words are '安全' (Safety), '子ども' (Children), '学校' (School), '活動' (Activities), '対策' (Countermeasures), '考える' (Thinking), '点検' (Inspection), '改善' (Improvement), '実践' (Practice), '生徒' (Students), '地域' (Community), '防災' (Disaster Prevention), '感じる' (Feeling), '意識' (Consciousness), '大切' (Important), 'いく' (Go), '思う' (Think), '自分' (Self), '児童' (Children), '方' (Direction/Person), '行う' (Do/Perform), '避難' (Evacuation), 'どう' (How), 'いい' (Good).

実践したいこと：セーフティプロモーションスクール全般

- セーフティプロモーションスクールの活動と目標を今回の講義を通して初めて学ばせていただき、現在人口が減少し続けている鳥羽市が行うべきである教育活動だと強く感じたため、今後の学校内での活動を通して実践していきたいと思いました。
- セーフティプロモーションスクールという言葉を知り、とても素敵だと感じました。実践したいことは、子どもたちと一緒に安全マップを作り、全校の児童や地域の方に広めていくことです。

実践したいこと：子どもとの安全点検・参画

- ・児童と一緒に安全点検
- ・どうすれば安全になるかを子どもたちと考えていきたい。
- ・子どもや地域の方を巻き込んだ安全点検は、今後、学校でやっていきたいと思いました。
- ・子どもと一緒に安全について考えることは意識的にやっていきたいと思いました。安全教育というと、どうしても「教える」ことに重きを置いてしまっていたと思います。一緒に考える、確かめることは大切だなと感じました。
- あと、子どもの視点をいれた校内安全点検に取り組みたいと思います。
- ・子ども視点の安全点検を実践したいと思いました。
- ・防災の授業の際に生徒に学校内安全点検または避難ルートの考案をしてもらいたいと思った。
- ・子どもの目線での安全点検は、実際に使う子どもたちに気づきや確認の気持ちを持たせるのが大切だと思いました。
- ・安全点検をこれまで実施してきたが、やはり危険箇所を探す活動であり、注意しようで終わっていたように思う。もう一步進んで、どう改善すれば良いか、その改善の伝え方をどうしていくかまで考えることが必要だと思いました。
- ・実践したいこと、子どもとの安全点検、逃げ道ルートの洗い出し、安全を意識した活動への更新等
- ・子どもの目線を生かしていく取組をひたいと思います。
- ・安全について、子どもたちをどんどん参画させていくことの大切さを学びました。教師だけが安全点検をするのではなく、子どもたちと一緒にやることをしていきたい。子どもたちに意義や理由を示しながら、自分たちのため、自分たちの家族、学校、地域のために安全管理や防災活動に参加していきたいという意識を育てたい。
- ・子どもも一緒に行う安全点検 訓練への地域の参加と大人の目を増やしていくこと
- ・危険な事を、安全になるためにはと、子どもたちと考えていきたい

実践したいこと：地域との連携・まなざし

- ・地域の方に地域として見守る「まなざし」という意識を持っていただくための働きかけ
- ・学校の安全点検を児童生徒だけでなく地域や保護者とともに実施していきたいです。改善できる場所はその場で改善していくことができ、児童生徒が私たちは守られるべき大切な存在なんだと気づかせる機会にもなります。
- ・現在、地域で一旦、消滅してしまった「こどもの会」を再度、復活させてコミュニティ作りを行っている。この活動を継続して拡張していきたい。
- ・先日、大津山さんに来ていただいた研修で職員全員で校内の安全点検を行いました。職員の中でも「たぶん大丈夫。」「そこまで気にしなくてもいい。」など考え方の違いが見られたので、地域を巻き込んだ安全点検を行うとより様々な視点から意見が出て良いと感じました。

実践したいこと：危機管理マニュアル・安全計画の見直し

- ・危機対応マニュアルの見直し

実践したいこと：施設管理・門扉・避難経路

・門の話を質問しようと思っていました。イノシシ対策もあり施錠してたのですが、その門を通った先が津波避難場所です。が、地震がきたら開かないのでは、、、と思っていたので、あけておいた方がいいのか、でも、防犯上どうなのかと考えていたところでしたが、施錠しなければいいんだなとわかり、また対応を検討したいと思います。

・本校には門扉がありませんが、不審者侵入対策として玄関の戸を閉めるようにしています。まずこれは徹底したいです。また安全点検は生徒目線を入れて実施します。地域と一緒にいる危険箇所点検、避難所運営訓練を継続します。今年度、防災現在推進校としてさらに発展させた活動を行いたいと思います。

・施錠していなくても、門扉が閉まっていることが、大切という話が印象的でした。

実践したいこと：防犯対策

- 防犯について見直したい

実践したいこと：心の安全・人間関係の配慮

•安心安全の中に、設備面のこともあるが、生徒同士の関わり、発言などに関しても尽力していかなければと再認識できた。

•学校の子どもたちや自分の子どもにも、大切と思っていることを大人から目を見て伝えていくことが大切だと改めて思いました。自分を大切に、周りの友達も大切に、地域の人も大切に思えるような子どもたちになっていくきっかけになったらいいなと思います。

実践したいこと：学校統廃合への対応・持続性

- 今年で閉校するので学校がなくなっても持続できるものを自校でも考えていきたい

印象に残ったこと

6. 講座内容で特に印象に残った点があればご記入ください（自由記述）

（例：講師の話の中で印象に残った話や、新たな気づきなど）（長い回答）

(23/33) 70% が回答しました

みんな 家 マップ 働 鳥羽 感じる
教育 町 協 地域 安全 危険 いく 印象
割り 安心 地域 安全 危険 いく 印象
縦 思う 不安 大切 自分 話 発見 考える

印象に残ったこと：PTSD・心のケア

PTSD・心のケア

- PTSDについて 被害者だけでなく被害者の家族も苦しんでいること

印象に残ったこと：安全を協働でつくっていく、という視点

協働・共感の重要性

- 共感と協働
- 安全協働マップへの転換
- 安心安全の共感と協働
- 寄り教育 危険発見マップより、安全協働マップ！
- 危険発見から、安全協働への転換が必要だというのが印象に残りました。子どもたちと建設的な話ができそうだと感じました。
- 危険なところをあげてばかりだと、不安が増えていくこと。解決策を考えることで不安が解消されていくこと。
- ハザードマップ作りにおいて、危険発見マップのように、地域の不安や大人への不信をあおるような内容にするのではなく、安全協働マップのように、その危険からどのようにすれば安全になるのかを考えさせることによって地域への安心や、大人への信頼を得ていくことによって児童が地域について安心感を持てるようにしていくことが大切ということが印象に残りました。
- 危険発見マップから安全協働マップへの転換
- 危険発言マップではなく安全協働マップに！
- 一人ではなくみんなです、というところ。危険に目を向けるだけでなく、安全に過ごせるよう子どもたちと考え、地域を担う子どもたちを育てる。親の思い、地域の思いを子どもたちに届けていくことの必要性を感じた。
- 今まで自分自身が子どもたちに対して、危険発見論で安全について話をしていたなと思い返しました。「危ない」を「どうすれば安全になるか」という視点で話をする、一緒に考えることが大切だなと感じました。
- 10年20年後、地域の安全安心を担う人材を育てる教育。まさに本校が目指しているところです。
- 1人がやるのではなく、教員、子ども、地域がみんなで行うことが大切。
- 安全の直感力
- 離島校の話にあったように、地域との連携が、学校の安全にとって重要なことをあらためて感じました。
- 1人でなくていい みんなでしらいたいということが印象的でした

印象に残ったこと：担い手の在り方・鳥羽市の将来像

安全・安心とその担い手育成の在り方

- 人とのつながりと安全教育についての話や地域との安全な町作りについてのお話の中に今後のことを考えていく上でのポイントが多くありました
- 地域とつながり、地域に大切にされた子は次は自分が、となるという言葉聞いて、鳥羽の子どもたちもそうなってほしいと思いました。
- 安全の考え方の話が印象的でした。危険発見論だったかもしれませんが。今まで、縦割り班で自分の家の地区の点検に出かけてましたが、狭い離島でも、少子化が進み、家がある地域が限定してきました。が、自分たちの町なので、縦割り班で自分の家のない地区も点検に出かけてました。が、今年は熱中症対策もあり、縦割りで地図を見ながら机上で話し合いをしました。上級生が事前にお家の人などに聞いてきて伝える活動をしました。こちらはこちらでよかったなと職員では話しましたが、安全マップ作りで、今後できるといいなと思いました。防犯意識も少ないかもです。地域の方と一緒に話し合う場を設けたいと思いました。いろんな考え直す視点をいただきました。ありがとうございました。

地域への誇り・鳥羽市の将来像

- ご紹介いただいた黒潮町について休憩時間に調べました。鳥羽市もこれから様々な改革をしていく中で、『鳥羽市みたいに』と言われるようになっていきたいと思いました。

運営について

7. その他、場所・時間・運営などで、何かございましたら教えてください（短い回答）

(8/33) 24% が回答しました

もう少し 簡単 とる レジメ
誇らしい とても よい お話 講演 取り組む
聞ける 進行 運営 思う ありがとう 市 事項
スムーズ 企画 聞く ご時間 準備 先生
行政

運営についてのコメント

講演内容への満足・感謝

- とてもいい話を聞いてよかったです。ありがとうございました。
- とても良かったです。また、聞きたいです。
- ありがとうございました。

運営・進行への感謝

- 企画、運営、スムーズな進行ありがとうございました。
- ご準備ありがとうございました。教育と行政がしっかりタッグを組んで取り組む鳥羽市が誇らしいです。

改善提案・ご意見

- 事項書とか簡単なレジメのようなものがあるとよかった
- 先生の移動の時間もあると思いますが、もう少し講演の時間を長くとり、深くお話を聞きたかった。